

「教会元気プラン」後の今 ～枝光教会の場合～

2016年度に「教会元気プラン」に取り組んだ枝光教会では、教会の「自己診断スケール」を使っての検証を通して、地域とのつながりを再構築するという行動目標を掲げました。その後、近隣にお住まいの方の納骨をお引き受けするという出来事が起きたり、市民センターのスタッフの方が礼拝に出席して下さるという出来事が起きたりしました。毎月のカルト問題相談会の働きも、教会の業として祈りに覚えられています。「坂の途中の教会」という教会標語はすっかり定着して、タクシーの運転手さんが迷わなくなったそうです。看板下の花壇もお伺いする度にきれいに手入れされています。教会の様子は2016年度当初から大きく変わりました。



谷矢力兄の誕生日祝 (4月15日)

編集後記

2018年5月末で、北九州教会の児玉一郎牧師ご夫妻が、高鍋伝道所に転任されることになりました。4月28日(土)連合年次総会にてご挨拶をいただきました。新しい任地でのお働きが守られますようにお祈りします。(山崎克明)



次回予告

巻頭言 教会音楽委員長 美登恭子姉(高須)

6月下旬～7月の予定

- 6月16日(土)連合規約改正委員会(富野)10時半
17日(日)宣教支援センター運営委員会
(シオン山)15時半
23日(土)伊藤世里江宣教師帰国報告会
(大分)13時半
25日(月)連合牧師会・カリス会(小倉)11時
連合小学科夏期学校奉仕者会
(シオン山)19時
7月 6日(木)連合役員会(シオン山)18時半
23日(月)連合小学科夏期学校
(源じいの森)24日まで
29日(日)連合宣教会議(小倉)15時
※ハラスメント研修会を同時開催します

宣教支援センターHP&Facebook

ニュースレターのバックナンバーを閲覧するにはパスワードが必要です。

HP : <http://bapkitaq.jimdo.com>
パスワード : kitag2015



連盟全国支援・地域協働プロジェクト バプテスト北九州地方連合 宣教支援センターニュース 28号



発行責任者：山田雄次
発行所：〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田2-1-40
Tel&Fax：(093)651-6669
東八幡キリスト教会内
連合宣教支援センター事務局
発行日：2018年6月14日



宣教支援センター4年目を迎えて
～「教会おじゃまします Part2」に向けて～

教会おじゃましますのあ・し・あ・と

「教会元気プラン」後の今 ～枝光教会の場合～

写真：「ミンダナオ子ども図書館の皆さん」
(4/19 東八幡教会)

新たな協力伝道のモデルとして

連盟宣教部長 松藤一作(大宮)



全国支援・地域協働プロジェクト「宣教支援センター」の4年目に入った働きを通して、北九州地方連合に連なっている28の教会が生き生きと教会を形成し、主にある恵みを地域に向けて証ししておられることと思います。こうした取り組みが全国諸教会や地方連合に、協力伝道の持つ可能性と豊かさを示すものとなっていることを、宣教部としても感謝しています。

さて日本バプテスト連盟は昨年、結成70年を迎えました。結成直後は、米国からの篤い祈りと捧げものを受けて、全国各地に教会が立てられていきました。また、1970年代に入ると、米国からのサポートを絶って自給自立路線に移行しましたが、高度経済成長の名残と、新宿にあった連盟事務所の売却に伴う膨大な基金・資金を背景に、連盟の協力伝道は、なおも「拡張・増強」を目指して歩んできました。

こうした基金・資金もすでに底をつき、これからは諸教会・伝道所が献げて下さる協力伝道献金だけを原資として連盟の働きが進められていきます。これまでのような、潤沢な資金を活用していく時代は終わりました。いよいよ「諸教会の、諸教会による、諸教会のための」協力伝道へ移行していくのです。

連盟の働きを担う連盟事務局も、もはや基金・資金時代のような“盛りだくさん”のプログラムを展開することは出来ません。一方、諸教会・伝道所は多くの課題に向き合い、何らかの支えを必要としています。こうした時代の中で、地域のネットワークがますます重要になってくると感じています。今後、連盟と連合が互いの役割と特色を活かし合いながら協働していけることを願っています。北九州連合における宣教支援センターの働きは、こうした新たな協力伝道の在り方のモデルケースであり、先取りだと理解しています。

プロジェクトの後半に向かっていく今年、北九州連合の皆さまが、その思いを新たにしていける一年となりますようお祈りしています。

宣教支援センター4年目を迎えて ～「教会おじゃまします Part2」に向けて～

連合では伝道委員会と宣教支援センターの共催で、2016年1月から「教会おじゃましますプロジェクト」と称して、月1回、連合加入教会を訪問し合う行事を続けてきました。

北九州地方連合は全国13地方連合の中でも、教会どうしの距離が近く、特急列車や高速道路を使えば、北九州市中心部から2時間30分以内で移動することができます。「いっぽプログラム」ではパートナー教会を決めての相互交流を行いました。が、「教会おじゃましますプロジェクト」では、連合加入教会を訪ね合うことを通して、それぞれの宣教地を知るとともに、諸教会の皆様方に連合の存在を身近に感じていただくことを主な目的としました。

実際に訪問させていただく中で、主事の立場から二つのことに気付きました。

一つは、いずれの教会にも、地道に会堂を守っておられる方がたがおられるということです。日常の会堂清掃、花壇や垣根の手入れ、掲示板の張替えなど、忠実に仕えている方がいてくださるからこそ、来会者を自信を持ってお迎えすることができます。

「教会おじゃまします」の会場教会になることは、礼拝者を迎えることを意識するための、絶好の機会になったのではないかと思います。

二つ目に、北九州市から遠い教会、そして小さな教会ほど、参加者が集まりやすかったと言えます。そこには「どんな教会なのか」という純粋な興味・関心があったのではないかと思います。もっと言えば、教会の行き帰りを含めて一つの娯楽になっていたように思うのです。

性別も世代も考え方も異なるお互いが、共通の娯楽を見出すことは容易なことではありません。ただ自分が楽しむだけでなく、相手を喜ばせることができる。私がお世話になっている東八幡教会の中でも「教会おじゃましますプロジェクト」に参加することを、ご自分の出番とと思ってくださっていた方が何人もおられました。

5月19日(土)シオン山教会で行われた伝道委員会で、いよいよ今年7月から、3か月に1回のペースで「教会おじゃましますプロジェクト」Part2を始めることが決まりました。今回は近隣教会との協働に取り組んでいる教会を訪問させていただいて、地域協働のメリットについて具体的なお話を伺う機会にしたいと考えています。詳しいことが決まり次第、ご案内いたします。どうぞご期待ください。

(主事 齊藤弘司)



第25回 2018年1月13日(土)芦屋教会



第26回 2018年2月22日(木)別府国際教会



第27回 2018年3月18日(日)中間教会



第24回 2017年12月14日(木)若松教会



第23回 2017年11月12日(日)北九州教会



第22回 2017年10月26日(木)東八幡教会



第21回 2017年9月28日(木)シオン山教会



第20回 2017年8月17日(木)門司教会



第19回 2017年7月27日(木)苧田教会

第12回 2016年12月15日(木)南小倉教会



第11回 2016年11月24日(木)豊前教会



第13回 2017年1月19日(木)小野田教会



第14回 2017年2月23日(木)折尾教会



第15回 2017年3月23日(木)飯塚教会



第16回 2017年4月27日(木)下関教会



第17回 2017年5月18日(木)臼杵教会



第18回 2017年6月29日(木)小倉教会

第10回 2016年10月27日(木)直方教会



第9回 2016年9月29日(木)防府教会



第8回 2016年8月25日(木)高須教会



第7回 2016年7月21日(木)大分教



第1回 2016年1月21日(木)光教会



第2回 2016年2月18日(木)枝光教会



第3回 2016年3月17日(木)企教教会



第4回 2016年4月14日(木)小倉春ヶ丘教会



第5回 2016年5月12日(木)八幡教会



第6回 2016年6月23日(木)富野教会

教会おじゃまします の あ・し・あ・と